

国語科学習指導案

単元名「書き表し方を工夫して、日本文化のみりよくを伝える文章を書こう」

教材名「発見、日本文化のみりよく」

令和6年10月 第6学年 指導者 松本 真由美

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編の第5学年及び第6学年の内容〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」を重点指導事項として設定したものである。

本単元では興味をもった日本文化について調べ、その魅力が読み手に十分に伝わるように、書き表し方を工夫しながら文章を書く学習を行う。そこで、来日している外国人に向けて、魅力を伝える文章を書く活動を設定する。まず、ALTの出身国の伝統文化を紹介してもらうことで、自国である日本の文化と比較しながら考えることができ、日本文化に対する興味をもつきっかけになると考えられる。そして、児童は自分が選んだ日本文化が世界にどのくらい知られているのか、修学旅行で会った外国人にインタビューする。その現状を踏まえた上で、どうしたら魅力が効果的に伝わるのかを考えて情報収集を行う。その後、集めた材料ごとに自分の感想や意見を追加し、最も伝えたい魅力は何かを情報チャートを使って考える。さらに、意見交流をしながら、相手意識や目的意識をもって情報を整理したり、読み手に伝わりやすい書き表し方の工夫がされているかを確認したりして、文章を完成させていく。書く活動のため個の学びになりがちだが、内容整理や記述の場面で積極的に協働的な学びを取り入れることで、自らの考えを明確にする手助けになると思われる。また、書いた文章は、市内のALT数名に実際に読んでもらい、感想をもらうことを事前に知らせておくことで、児童の書くことへの意欲がより高まると考えられる。

2 研究との関わり

本研究では「書くこと」において、より伝わりやすい文章になるように、書く過程の様々な場面において情報整理シートを繰り返し活用していくことを通して、「情報を整理し、読み手に伝わりやすい文章を書くことができる児童」を目指している。研究主題に迫るため、以下の手立てを講じていく。

① 自分の考えを明確にするための情報整理シートの活用

集めた材料と自分の感想や意見などを整理しながら、自分が最も伝えたい魅力を明確にするためのツールである情報チャートと、文章構成表が1枚で見られる情報整理シートを準備する。まず、自分が魅力を伝えたい日本文化に必要な材料を収集し、自分の感想や意見とともに記入するように促す。そして、さらに知りたいことを補足したり、似ている情報をまとめたりしながら整理することで、自分の考えが明確になり、選んだ日本文化で最も伝えたい魅力は何かをチャートを通して考えられるようにする。また、構成の過程では情報整理シートにある構成表に、事実①や感想・意見②等、各枠に付けられた番号などで簡単に記入することによって、論の展開を明確に示すことができ、情報整理シート1枚のみを見ながら文章を書くことができるようにする。記述の過程でこのシートを往還することで、主張の一貫性を保ち、矛盾のない論理的な文章を作成できるようにする。

② 目的意識や相手意識をもつための交流活動の設定

何を誰に伝えるのかということを意識できるように、内容整理の過程と記述の過程で交流活動を設定する。まず、自分が伝えたい魅力を導き出した情報チャートを、似た題材の少人数のグループ、異なる題材のグループという2段階で交流することで、多様な視点が入り入れられ、情報の取捨選択がしやすくなり、伝えたいことをより明確にすることができるようになる。また、記述の過程で、読み手に伝わりやすい書き表し方か、最も伝えたいことが中心になった文章になっているかを確認するために、自

由に相手を選んで相談できるようにする。そうすることで、読み手を意識した、より伝わりやすい文章を書くことができるようになる。

3 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。(3)オ	・進んで読書をする児童は多いが、ただ読むだけで感想をもてなかったり、更に関連した本を読もうとしたりすることは少なく、自分の考えを広げることにはつながっていない。
思考力、判断力、表現力等	・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。B (1)ウ	・集めた情報に対して、取捨選択をせず全てを取り入れて書いてしまう。さらに、自分の感想や意見を結び付けることができず、読み手に伝わりやすい文章にならない。
学びに向かう力、人間性等	・言葉がもつよさを認識するとともに、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。	・課題に対して意欲的に伝えることができる児童が多い。思い合える児童が多いので、共感的人間関係を築きながら活動できる。

4 評価規準

知識・技能	・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。
思考・判断・表現	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	・進んで書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって日本文化の魅力を伝える文章を書こうとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全7時間：本時第3時）

過 程	時 間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つ か む	1	■単元の課題を捉え、学習の見通しがもてるようにする。 □ALTの母国の伝統文化の紹介を聞き、日本文化について考える。 □教科書の例文を読み、作者がどんな工夫をしているかを捉える。 □学習課題を設定し、学習計画を立てる。 □興味がある日本文化を選ぶ。 □修学旅行で、選んだ題材について外国人にインタビューし、現状を把握する。			○	◆日本文化の魅力を伝える文章を書くという学習課題を捉え、日本文化に興味をもち、伝える題材を決めている。 ＜観察・ノート（態）＞

		<div> [単元の学習課題] 書き表し方を工夫して、日本文化のみりょくが伝わる文章を書こう。 </div>			
追究する	2	■ 自分が伝えたい日本文化の魅力に関する情報を集め、情報チャートに整理できるようにする。 <input type="checkbox"/> 本やインターネットを使って、選んだ日本文化に関する情報収集を行う(★)。 <input type="checkbox"/> 集めた事実ごとに感想や意見を情報チャートに記述し、整理する。	●		◆ 書くために必要な情報を集め、その情報に感想や意見を記述することで、自分の考えを明確にしながら情報を整理している。 <情報整理シート(知)>
		<div> [本時のめあて] 情報を集めて感想と意見とともに記述し、情報チャートに整理しよう。 </div>			
	3 (本時)	■ 集めた情報を取捨選択し、自分が伝えたい日本文化の魅力を明確にできるようにする。 <input type="checkbox"/> 情報チャートを整理し、自分が最も伝えたい魅力が何かを考える。 <input type="checkbox"/> 少人数の似た題材のグループ、異なる題材のグループという2段階で、主張が曖昧でないか、主張と事例の整合性はあるかなどをアドバイスし合う。 <input type="checkbox"/> アドバイスをもとに、情報チャートを再度整理する。		○	◆ グループで交流したことを基に、日本文化の魅力が伝わる情報を取捨選択しながら自分の考えを明確にしている。 <情報整理シート・観察(思)>
		<div> [本時のめあて] グループで情報チャートにアドバイスをし合い、自分の考えを明確にしよう。 </div>			
	4・5・6	■ 自分で選んだ日本文化の魅力が十分に伝わるように書き表し方を考え、文章を書けるようにする。 <input type="checkbox"/> 前時のアドバイスを生かして、補足する情報があれば調べたり、意見を追加したりしながら情報チャートを整理する(★)。 <input type="checkbox"/> 事実と感想、意見とを区別したり、詳しく書く部分を考えたりしながら構成表に情報チャートの枠番号を記入する。	●		◆ 日本文化の魅力が十分に伝わる文章になるように、書き表し方を工夫している。 <情報整理シート・文章・観察(思)>

		<input type="checkbox"/> 情報整理シートを見ながら、書き表し方を工夫して文章を文書作成ソフトで書く（★）。 <input type="checkbox"/> 自分が必要なタイミングで自由に相手を選び、書き表し方の工夫ができているか交流して確認する。				
		[本時のめあて] 書き表し方を工夫して、日本文化のみりよくが伝わる文章を書こう。				
ま と め る	7	■ グループで互いの文章のよい点を伝え合い、単元全体の学習を振り返ることができるようにする。 <input type="checkbox"/> 書き表し方の工夫に着目しながら書いた文章を異なる題材のグループ数名で読み合い、よいと思ったところを伝え合う。 <input type="checkbox"/> 単元全体を振り返る。			● ◆互いの文章を読んで見付けたよい点を伝え合っている。 <観察・ノート（態）>	
		[本時のめあて] 書いた文章を読み合い、工夫されていると感じたことを伝え合おう。				

Ⅱ 第3時の学習

- ねらい グループで情報チャートについてアドバイスし合う活動を通して、必要な情報を選んで情報チャートを整理し、自分が伝えたい日本文化の魅力を明確にできるようにする。

2 展 開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 （導入5分） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <めあて> グループで情報チャートにアドバイスをし合い、自分の考えを明確にしよう。 </div> S：たくさんアドバイスをもらって、何を書くかがはっきりするといいな。	○本時のめあてをつかむことができるように、前時に記入した情報チャートを振り返る。 ○本時のめあてを達成する見通しがもてるように、文章を書く相手や目的について再確認する。
2 情報チャートを整理し、自分が最も伝えたい魅力が何かを考える。 （展開⑩10分） S：私の題材は「武道」だから、外国人にはまず、道徳や礼節を大事にするということを知っ	◎自分の考えが明確になるように、情報チャートに線を引いたり、枠を付け足して追加の意見などを入れたり、枠同士をつなげたりしながら情報を整理し、自分が最も伝えたい魅力が何かを導き出すように伝える。

<p>てほしいな。他には、残心という言葉も伝えたいな。でも、これは武士という仕事に関わる言葉だから、この枠とつなげて一緒に伝えるとよいかも。そうすると、この三つが最も伝えたい魅力になるのか。まとめると、武道の心が私の最も伝えたい魅力だ。武道の心に必要な情報は他にはあるかな。</p>	<p>○情報チャートが充実するように、なぜその情報を選んだのかを記入したり、インタビューで聞いた現状等も書き込んだりするように伝える。</p>
<p>3 少人数の似た題材のグループ、異なる題材のグループという2段階で、主張が曖昧でないか、主張と事例の整合性はあるかななどをアドバイスし合う。（展開②20分）</p> <p>S：最も伝えたい魅力は武道の心ということだね。それって、どういうこと？</p> <p>S：技術だけでなく、道徳や礼節を大事にするという武道独特の心のことだよ。</p> <p>S：武道はスポーツとは異なるという材料は、外国人が混乱する可能性があるし、武道の心とは少し違うから使わない方がよいかもね。</p>	<p>○円滑にグループ活動に入れるように、事前に似た題材のグループメンバーは伝えておく。</p> <p>○見通しがもてるように、各段階で交流時間を提示しておく。</p> <p>◎文章に必要な情報を選択できるように、自分が最も伝えたい魅力は曖昧でないか、最も伝えたい魅力とその事例の整合性はあるかななどを吟味するよう伝える。自分の考えが明確になるように、必要なアドバイスを書き込むよう促す。</p> <p>○交流が滞っているグループについては、活発に交流できるように、情報の信憑性やその情報を選んだ理由について話し合うように助言する。</p>
<p>4 アドバイスを基に情報を取捨選択しながら、情報チャートを再度整理する。（展開③5分）</p> <p>S：武道の心を伝えるために、礼儀や心得の情報を選んで詳しく書こう。でも、全ての武道で共通するものなのか、もう一度調べておこう。それに、オリンピックで見たことを入れるといいと言われたから、外国人にも共感してもらえるような書き表し方を工夫してみよう。</p>	<p>○交流で得たアドバイスを基に、最も伝えたい魅力に必要な情報はどれかを考え、取捨選択するよう促す。</p> <p>○次時の構成や記述が円滑に進むように、追加で調べることやどの部分を詳しく書くかななどを考えながら、情報チャートを整理し直すように伝える。</p> <div data-bbox="831 1384 1430 1608"> <p>◆評価項目</p> <p>グループで交流したことを基に、日本文化の魅力が伝わる情報を取捨選択しながら自分の考えを明確にしている。</p> <p><情報整理シート・観察（思）></p> </div>
<p>5 本時を振り返り、振り返り共有シートに入力する（★）。（終末5分）</p> <p>S：皆に自分の情報チャートを見てもらったことで、自分が書きたいことがより明確になった。そのために、もう少し情報を補足する必要があるから、次回それについて調べてから書いていこう。</p> <p>S：皆と話したことで、最も伝えたい部分がはっきりしたから、そこは詳しく書いていこう。</p>	<p>○本時の振り返りができるように、自分の考えが交流によって追加・強化・変化されたことをタブレットの振り返り共有シートに記入するように伝える。</p> <p>○各自が次時の見通しを明確にもてるように、必要に応じて再度情報収集をし情報チャートを整理したり、構成表を作成したりするなど自分に必要な活動を選択して進めていくことを伝える。</p>

3 板書計画

学習計画

1 日本文化を選ぶ

2 情報を集める

3 グループで整理

4 構成

5 文章を書く

6 工夫のチェック、推敲

7 読み合い

発見、日本文化のみりよく

単元目標

書き表し方を工夫して、日本文化のみりよくが伝わる文章を書こう。

めあて

グループで情報チャートにアドバイスをし合い、自分の考えを明確にしよう。

1. 個人

自分が最も伝えたい
みりよくは何か

情報チャートに

・線を引く

・わくを付け足す

・つなげる

2. グループ

・説明：1分

・交流：3分

必ず全員発言しよう

みりよくが十分に伝わる文章が書けるか

※情報チャートにアドバイスを書き込み、修正する。

3. 個人

自分で整理して、何を書くか明確にする。

振り返り